

05年8月から家庭ゴミ収集が有料に 「有料化でなく、ゴミの出し方の指導に全力を」共産党が主張

小金井市議会は12月2日、稲葉市長が提案した家庭ゴミ収集を有料にする条例を、賛成17、反対6で可決しました。実施は05年8月から。日本共産党市議団は、小金井市のゴミ量は年々減少し、三多摩で5番目に少ない量になっていることや、ゴミの資源化率がトップクラスであることを示し、「ゴミの出し方の徹底でこそゴミ減量につながる」と主張。有料化条例に反対しました。

分別の徹底こそ力 小金井市で証明済み

分別回収でゴミ減量にすすむ家庭の可燃ゴミ（一日あたりの一人平均のゴミ量）

	可燃ゴミ	資源ゴミ	不燃ゴミ	
1996年度	534.6 g	93.2 g	100.7 g	空缶、古紙等の平日(隔週おき)分別回収実施(9月から)
1997年度	516.5 g	135.1 g	87.6 g	ペットボトルの平日(隔週おき)分別回収実施(9月から)
1998年度	504.6 g	139.3 g	98.4 g	
1999年度	498.5 g	140.4 g	106.4 g	生ゴミ処理機による堆肥化実験開始(7月から)
2000年度	503.8 g	152.9 g	105.2 g	
2001年度	487.8 g	154.4 g	107.1 g	
2002年度	452.4 g	182.6 g	113.0 g	古紙等の毎週回収実施、可燃ゴミ週2日収集に変更
2003年度	443.3 g	167.6 g	117.0 g	

小金井市はこれまでに、家庭から出されるゴミの分別回収を進め、その都度「市報」などで、ゴミの出し方を徹底。その結果、「可燃ゴミ」の量が徐々に減ってきています。一方、資源になる「資源ゴミ」は増加。ゴミの出し方の徹底でこそゴミ減量になることを、小金井市自身が証明しています。

現在でも 三多摩で5番目に少ないゴミ量 資源化率はトップクラス 2003年度

一日あたり一人平均ゴミ量		資源化率	
1位 清瀬市	790.7 g	1位 小金井市	32.8 %
2位 東村山市	800.2 g	2位 調布市	32.4 %
3位 東久留米市	802.7 g	3位 国分寺市	29.7 %
4位 西東京市	815.7 g	4位 羽村市	27.5 %
5位 小金井市	817.7 g	5位 日野市	27.1 %
6位 三鷹市	846.9 g	6位 東村山市	25.2 %

ゴミ分別を促進している小金井市では各家庭から出されるゴミ量は三多摩で5番目に少なく、「資源の日」などに出される量の割合は、三多摩でトップクラス。有料化せずとも、ゴミ量は減っています。

有料化の内容

【袋購入方法】

市が指定する袋を、市内の販売店で購入。

【袋の種類と値段】

5ℓ袋	10円/枚
10ℓ袋	20円/枚
20ℓ袋	40円/枚
40ℓ袋	80円/枚

それぞれ10枚単位で販売。袋は、燃やすゴミ専用と、燃やさないゴミ専用の2種類あります。なお、5ℓ袋は、燃やすゴミ用しか作られません。

値段は、日野市、武蔵野市と同額で、三多摩一高い金額。市の試算では、1世帯平均 年間6,000円の負担になります。

【袋が減免される対象】

生活保護・児童扶養手当・老齢年金などを受給している世帯。教育施設、各家庭の剪定草木類、紙オムツ。

有料化で心配される「不法投棄」

2005年8月から、家庭から出される「可燃ゴミ」と「不燃ゴミ」の収集が有料になります（資源ゴミは無料収集）。市が指定する有料のゴミ袋でなければ「不法投棄」扱いとなり、収集しません。つまり、レジ袋や半透明袋ではダメということ。現在でも、決められた日にゴミを出さずに、収集日以外の日にゴミを出す人がいるなかで、「不法投棄が増えるのではないかと」心配する声が高まっています。大学や専門学校が多い小金井市では、一年の間に一割近い人が他市の人と入れ代わります。ゴミの出し方を徹底しなければ、レジ袋などで出されるケースが後を絶たないのではないのでしょうか。

4月から戸別収集に順次移行

有料化前に小金井市は、現在の「ゴミ停」収集方式から、各家庭ごとの「戸別」収集方式に変更します（アパート、マンションは現行どおり）。市内を4区域に分けて4月から7月にかけて順番に変更する予定です。また、有料化と戸別収集のための住民説明会が2月からスタートします。

日本共産党
市議会議員

板倉真也

184-0014 小金井市貫井南町4-20-31 電話/FAX 042(386)0404

1959年2月生まれ。45歳。
現在、3期・12年目。
市議会厚生文教委員長。

2004年12月発行

